



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

令和6年能登半島地震における被災地の道路復旧をサポートする「路面状況把握システム(災害復旧支援プラン)」を無償提供

2024年2月20日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、令和6年能登半島地震の被災地復興支援を目的に、テレマティクス自動車保険により取得した自動車走行データを活用して、災害救助法適用地域における道路復旧をサポートする「路面状況把握システム^{※1}（災害復旧支援プラン）」（以下、「本プラン」）を構築し、2024年2月より石川県・富山県・福井県・新潟県の各県庁にて無償でご利用いただけることとしましたので、お知らせします。

※1 https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022070501040.pdf

1. 背景

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、災害救助法適用地域等では土砂崩れや落石等の影響で道路が寸断されており、早期復旧に向けて多くの人員が投入されています。一方、通行可能な道路においても、地割れや隆起が発生し通行の安全性が懸念される箇所が多数あり、修繕が必要な状況となっています。そこで当社は、このような課題に着目し現地社員が発案したアイデアをもとに、被災地における損傷した道路の効率的な復旧を支援するため、自動車走行データを活用し、路面状態に異常がありそうな箇所や、推定損傷度合いを地図上に表示する本プランを構築しました。

2. 概要

(1) 本プランの概要

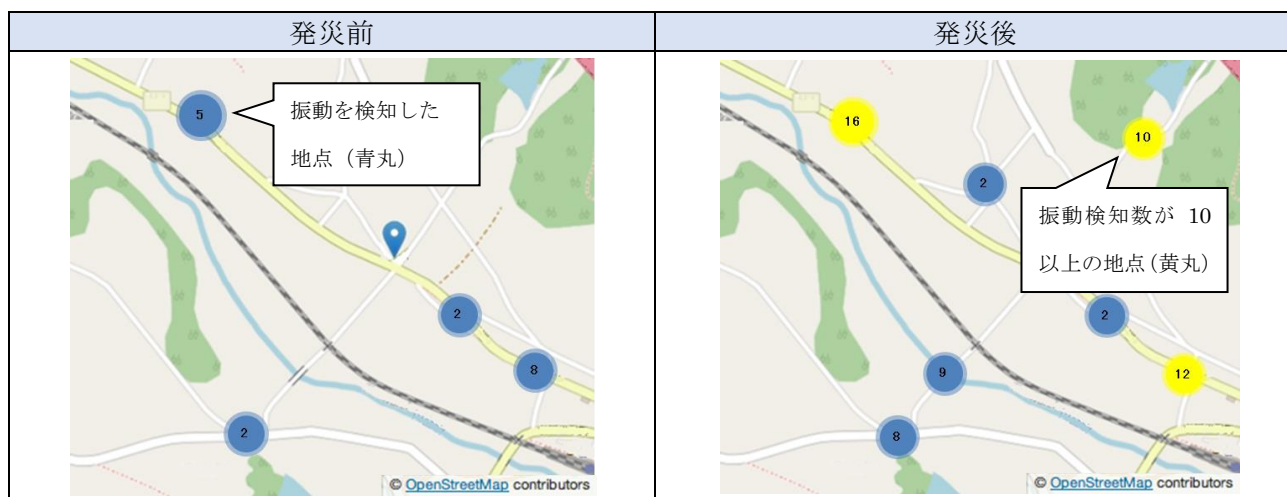
「路面状況把握システム」は、当社のテレマティクスデバイスより緯度経度・走行速度・x, y, z 軸加速度などの走行データ^{※2}を「車両の振動情報」として取得することで、路面状態に異常がありそうな箇所を推定し、地図上に可視化します。地方公共団体による日常の道路点検・維持業務に活用いただくことが可能であり、走行データが十分に蓄積されている道路のデータを都道府県や市町村に提供しています。

一方、本プランでは、被災地における生活道路を含めた網羅的な道路の復旧業務を支援するため、走行データが十分に蓄積されている国道・都道府県道・高速道路のデータのみならず、要望に応じて、走行データ量が少ないエリアを含んだ市町村道などのデータを追加することも可能です。

※2 個人情報を含まない形で自動車走行データの加工・統計化を実施

(2) 令和6年能登半島地震における活用（例）

車両の振動情報をもとに「振動を検知した車両数が多い」「検知した振動幅が大きい」地点を路面の異常箇所として検出し、発災前後でデータの比較をすることで、地震によって損傷が発生している箇所を把握し、修繕計画の策定に活用いただけます。また、システムに蓄積したデータによって、振動検知箇所の増減の推移を把握できます。これにより、道路修繕の進捗程度の推定や、修繕後の経過観察も可能となり、長期に渡る道路管理業務のサポートが可能です。



3. 今後の展開

当社は災害により被害を受けた道路の早期復旧への貢献を目指し、今後、大規模災害によって災害救助法が適用された地域においても、本プランの提供を予定しています。

以上

<参考>路面状況把握システムの概要



当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

